

SMBC カップ第 21 回全国小学生ラグビー大会～指導者・観戦者のマナーについて～

千葉県ラグビーフットボール協会 普及育成委員長 高濱剛

≫はじめに

本大会は、チームが結束してタグを取り、仲間と協力してトライを取り、試合を通じてレフリーや相手へのリスペクト（尊敬）の気持ちを培う、子どもたちにとっての成長の場であると考えています。本大会に参加することで、子どもたちにラグビーを通じたスポーツの素晴らしさ、試合後には対戦した相手と仲間になるラグビー特有の“ノーサイドの精神”を感じてもらえることを望んでいます。本書は、SMBC カップ第 21 回全国小学生ラグビー大会で子どもたちにより実りのある体験をしてもらい、温かい応援でのびのびプレーしてもらえる大会となるよう取り組んでいくことを目的に作成しております。つきましては、本大会に参加される指導者・観戦者の皆様におかれましては、趣旨をご理解の上指導時・応援時のマナーについて以下の通り厳守くださいますようお願い申し上げます。

≫子どもたちがのびのびプレーするために

近年、小学生年代における子どもたちの試合で、「司令塔」とばかりにタッチラインの外から指示を出し、子どもがミスすればプレーをののしる指導者が見られます。試合が始まれば、どんなに若いプレーヤーであっても、すべてのプレーヤーの人格は尊重されます。「ボールを持って走る」「パスする」など、プレーを選択し、実行するのはグラウンド内でプレーする彼／彼女たちにだけ許された権利です。その判断を尊重し、認めてあげましょう。何をするかを決めるのは、プレーヤーの権利です。ラグビーは、プレーしている中でプレーヤーを成長させることができるスポーツです。

～「ペナルティゴールで同点にするよりも、スクラムを選んで逆転をねらう」～

プレーヤーの判断が、2015W 杯での日本代表の快挙につながりました。

子どもたちに“尊敬”を学んでもらうために子どもたちに対してだけでなく、相手チームやレフリーに向けて、聞くに堪えない言葉を発する声が問題になっています。ラグビーの試合の相手チームは、憎しみ合う敵ではなく、競い合う「ライバル」です。そして、ともにラグビーを楽しむ「仲間」です。試合の後、相手をたたえて握手する「ノーサイド」は、試合の終わりと同時に、生涯続く友情の始まりを意味します。そんな仲間との友情は、プレーした者だけに与えられるラグビーの贈り物です。試合の後で「贈り物」がもらえるような環境を作るのは、指導者・保護者である大人の務めです。

ラグビーのレフリーは、「両チームに依頼されて、プレーだけで解決できないことを整理する」ためにグラウンドにいます。そして、プレーヤーがラグビーを楽しめるよう、「問題」が起きないように努め、起きてしまったら、どちらに原因があったかを明らかにします。レフリーもまた、ラグビーに参加している仲間です。レフリーに対してどのように接するか、それは大人たちが身を以て教えることです。レフリーは、試合中においては唯一の事実の判定者であり、競技規則の判定者であると競技規則に定められています。レフリーはアンパイア（審判）ではなく委託者です。レフリーに委託した以上、ミスジャッジと感じた場合でも、クレーム、批判は行わないでください。

≫子どもの成長のために

子どもは大人たちのしていることを見て、まねをします。罵りや罵声の中でラグビーをした子たちは、失敗を恐れ、仲間のミスを許さず、相手やレフリーを見下すようになります。反対に、「自分はまわりの人たち

に大事にされている」という、喜びとともにラグビーをしてきた子どもたちは、やがて本物のラグビースピリットを身に付けて成長していくでしょう。未来のラグビーは、今、子どもたちを取り巻いている大人たちが作っているのです。子どもはたくさんの体験を積んで大人になっていきます。成功も失敗も、すべてが将来の糧（かて）です。

- ・指導者は、選手が自分たちで判断してプレーできるように育て、導く。
- ・試合が始まったら、親や観戦者も温かく見守る。
- ・すべての大人がレフリーを尊重する。
- ・レフリーもプレーヤーを尊重する。

これが、タッチライン際の大人たちの役割です。子どもたちの可能性やひらめきを信じましょう。

» Good manners make good players～指導者・観戦者へのお願い～

1. 自チームの選手はもちろん、相手チームのよいプレーにも拍手を送りましょう。
2. プレーヤーのミスを責めるのはやめましょう。
3. プレーヤーや観客を怖がらせる声や態度は、ハラスメント※です。いかなる理由でも許されません。
4. レフリーは両チームから判定を委ねられています。レフリーの判定を尊重しましょう。

※ハラスメント 他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えること。

(『第14回サントリーカップ 全国小学生タグラグビー選手大会決勝大会 ～指導者・観戦者のマナーについて～ 公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会 普及育成委員会 タグラグビー部門』より作成)

重要

今年度の千葉県予選においても、昨年度同様、以下の競技規則を追加させていただきます。

「自チーム・相手チーム・レフリーや関係者に対する暴言・危険行為を固く禁ずる。かつ、大会役員に警告を受けてもなお、同様の行為を行う場合、出場チームの勝ち点を1点減じる場合がある。対象はプレーヤー・帯同 コーチ・チームスタッフ・保護者等観戦者とする。」 「同様の行為についての退場措置についても継続して適用する。」